

『木簡研究』一～五号総目次

創刊の辞

卷頭言—木簡と墨書土器—

ク—中国簡牘呼称についての提言—

ク—木簡保存法の思い出—

ク—木簡史の研究について—

岸 俊男

平野邦雄

大庭 倭

坪井清足

関 晃

号数
頁数

長岡京跡出土木簡

平安京跡出土木簡

國府遺跡(大阪)出土木簡

佐堂遺跡(大阪)出土木簡

鴨遺跡(滋賀)出土木簡

伊場遺跡(静岡)出土木簡

城山遺跡(静岡)出土木簡

下野國府跡(栃木)出土木簡

郡山遺跡(宮城)出土木簡

概要

一九七八年出土の木簡・概要

一九七九年出土の木簡・概要

一九八〇年出土の木簡・概要

一九八一年出土の木簡・概要

一九八二年出土の木簡・概要

加藤 優

和田 萃

榮原永遠男

東野治之

佐藤宗諱

5 4 3 2 1

1 1 1 1 3

5 4 3 2

坪井清足

関 晃

1 1

長岡京跡出土木簡

平安京跡出土木簡

國府遺跡(大阪)出土木簡

佐堂遺跡(大阪)出土木簡

鴨遺跡(滋賀)出土木簡

伊場遺跡(静岡)出土木簡

城山遺跡(静岡)出土木簡

下野國府跡(栃木)出土木簡

郡山遺跡(宮城)出土木簡

藤原宮跡出土木簡

佐堂遺跡(大阪)出土木簡

鴨遺跡(滋賀)出土木簡

伊場遺跡(静岡)出土木簡

城山遺跡(静岡)出土木簡

下野國府跡(栃木)出土木簡

郡山遺跡(宮城)出土木簡

長岡京跡出土木簡

平安京跡出土木簡

國府遺跡(大阪)出土木簡

佐堂遺跡(大阪)出土木簡

鴨遺跡(滋賀)出土木簡

伊場遺跡(静岡)出土木簡

城山遺跡(静岡)出土木簡

下野國府跡(栃木)出土木簡

郡山遺跡(宮城)出土木簡

長岡京跡出土木簡

平安京跡出土木簡

國府遺跡(大阪)出土木簡

佐堂遺跡(大阪)出土木簡

鴨遺跡(滋賀)出土木簡

伊場遺跡(静岡)出土木簡

城山遺跡(静岡)出土木簡

下野國府跡(栃木)出土木簡

郡山遺跡(宮城)出土木簡

2

4

6

6

6

6

6

6

6

1 四・五

2 七

3 三・四

5 一・五

1 六

2 七

2 七

2 七

2 七

1 一・三

3 五・六

4 一・五

1 六

2 七

2 七

2 七

2 七

2 七

1 一・三

3 五・六

4 一・五

1 六

2 七

2 七

2 七

2 七

2 七

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

6

2

4

6

6

6

6

6

6

東院西辺地区（第一二八次）	清田善樹
内裏北方官衙地区（第一二九次）〔図版四〕	タ
宮城南面西門（若犬養門）地区（第一三三次）〔図版一・四〕	
第一次朝堂院地区（第一三六次）	今泉隆雄
内裏北外郭東北部（第一三九次）〔図版六〕	清田善樹
推定第一次朝堂院地区（第一四〇次）〔図版六〕橋本義則	寺崎保広
南面大垣（第一四三次）	タ
推定第一次内裏北方地区（第五次）	東野治之
推定大膳職跡（第七次）	タ
推定第二次内裏北外郭地区（第一三次）	今泉隆雄
朱雀門および内接地区（第一六・一七次）	清田善樹
宮城西辺地区（第一八次）	佐藤信
推定第二次内裏北外郭地区（第二〇次）	タ
推定第二次内裏外郭東接地域（第二一次）	鬼頭清明
第二次調査地区の東接地域（第二三次北）	
東院西辺地区（第二三次南）	
推定第一次内裏東南地区地域（第二七次）	
推定第一次内裏西接地域（第二八次）	
東面大垣（第二九次）	
平城京跡	

左京三条十坊十五坪（第一一八次一八）	清田善樹
左京三条一坊八坪（第一一八次一三一）	タ
左京三条二坊七坪（第一一八次一三三）	
法華寺阿弥陀淨土院跡（第一一八次一三〇）	
左京三条二坊宮跡〔図版六〕	
右京三条一坊三条大路（第一二三三一二次）	
法華寺西南部（第一二三一四次）〔図版二〕	
平城京西市跡（第一次）	
左京二条二坊坊間大路（第一二三一六次）〔図版二〕	
九条大路（第一二五次）	タ
左京（外京）五条五坊七坪	
法華寺西南部（第一四一一次）	
平城京東市東堀河（第一四一一次）	
左京三条三坊七坪（第一四一一次）	
左京三条二坊七坪（第一四一一次）	
二条大路・左京二条二坊十二坪	
藤原宮跡	
推定東面北門南接地（第一四次）〔図版四・五〕	
東面北門（第二七次）〔図版七〕	
鬼頭清明	
加藤優	
2 1	5 5 5 5 5 3 3 3
15 13	18 10 9 9 9 14 10 10

『木簡研究』総目次

東面大垣 (第二九一次) [國版三・四]	加藤 優
西南隅地域 (第三四次)	
西北隅地域 (第三六次) [國版一・五]	
国道一六五号線樞原バイパス関連調査	
藤原京条坊関連遺跡	
紀寺跡	泉森 皎・岸 俊男
稗田遺跡一下ツ道	和田 萃
奈良女子大学構内遺跡	中井 一夫
法隆寺	*
白毫寺遺跡	5 4 3 3
山田寺跡	5 4 3 25
阿部六ノ坪遺跡	5 4 3 25
正倉院伝世の木簡	5 4 3 17
薬師寺	5 4 3 16
〔京都〕	
左京宮・京跡	
左京二条二坊五・六町 (左京第二三次) [國版二・三]	
山中 章	
1 1	* 3 1 5 5 4 4 15 19 78 23 25 17 16
19 18	67 58 31 29 21 24 22 22 19 78 23 25 17 16
加藤 優	推定猪隈小路 (仮称)
左京二条二坊六町 (左京第五一次) [國版五]	左京二条二坊三町 (立会調査第八〇一八次) [國版六]
左京四条三坊 (第二、五調査区)	左京四条二坊九町 (左京第七一次)
左京四条一・三・四坊	鈴木久男
東二坊大路・南一条条間大路交差点 (左京第八九次)	長宗繁一
右京六条二坊四町 (右京第一〇二次)	岩崎 誠
右京八条一坊九・十六町 (右京第九四次)	清水みき
平安京跡	百瀬正恒
西市跡 [國版六]	丸川義広
左京八条三坊跡	平良泰久
三条西殿跡	定森秀夫
左京内膳町跡 (北辺三坊六町)	上村和直
鳥羽離宮跡	家崎孝治
仁和寺南院跡	
宮東辺北部 (第八七次)	
長岡宮	
左京二条二坊五・六町 (左京第二三次) [國版二・三]	
山中 章	
1 1	
19 18	

『木簡研究』総目次

『木簡研究』総目次

安芸国分尼寺伝承地	松下正司・山県元	九州大学(筑紫地区)構内遺跡	倉住靖彦
下岡田遺跡	松下正司	長野遺跡	小方泰宏
道照遺跡	福島政文	辻田西遺跡	栗山伸司
〔山口〕		高烟庵寺	柳沢一男
長門国府周辺遺跡	甲元真之・山内紀嗣・伊東照雄		
周防鑄錢司跡	倉住靖彦		
長門国分寺跡	伊東照雄		
〔愛媛〕			
久米窪田Ⅱ遺跡	吉本拡		
〔高知〕			
田村遺跡			
〔福岡〕			
三宅庵寺	森田尚宏		
金光寺跡			
觀世音寺僧房跡			
大宰府学校院跡東辺部			
大宰府跡(大楠地区)			
〔大分〕			
藤田遺跡			
論文			
中国簡牘研究の現状			
東北地方出土の木簡について			
長岡京木簡と太政官厨家			
藤原宮跡出土の奴婢関係木簡について			
木簡と大宝令			
中国における雲夢秦簡研究の現状			
袖井遺跡出土の木簡			
中国における簡牘研究の位相			
庸米付札について			
静岡県城山遺跡出土の具注曆木簡について			
草戸千軒町遺跡出土の木簡—形態を中心にして—			
呪符木簡の系譜			
小倉正五			
大庭脩			
平川南			
今泉隆雄			
鬼頭清明			
岸俊男			
永田英正			
栄原永遠男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			
狩野久			
志田原重人			
倉住靖彦			
栗山伸司			
柳沢一男			
和田萃			
原秀三郎			

木簡と上代文学——水産物付札をめぐって——	小谷博泰
字訓史資料としての平城宮木簡——古事記の用字法との比較を方法として——	小林芳規
平城宮出土の衛士関係木簡について	鬼頭清明
記念講演 (M・ローヴェ) 要旨	佐藤宗諱
木簡第一号発見のころ	田中 琢
「漆紙文書」出土概要	佐藤宗諱
木簡とコンピュータ	田中 琢
書評	水藤 真
『草戸千軒——木簡——』	
その他	
『雁鴨池』発掘報告書の刊行	
前川遺跡 (愛媛県松山市南久米町五〇六) 出土の遺物	
福岡宮ノ本遺跡出土の買地券	
御子ヶ谷遺跡出土木簡の報告書公刊	
金堂の仏前に木簡あり	
平城京出土の最古の漆紙文書——かつて発掘され、最近発見された——	
3 3 3 2 2 1	5
114 67 43 71 57 39	129
3 3 3 2 2 1	5
114 67 43 71 57 39	129

皇后宮職官人銘記の墨書土器

『但馬国分寺木簡』の刊行

訂正とお詫び

『草戸千軒——木簡——』の刊行

あいつぐ墨書土器の出土——静岡県坂尻遺跡——

大阪府立泉州考古資料館『記された世界展』の紹介

『平城宮出土墨書土器集成』奈良国立文化財研究所編

鹿の子C遺跡の調査報告書公刊される

『東大寺領横江庄遺跡』刊行される

法隆寺百萬塔の墨書銘

『東大寺領横江庄遺跡』刊行される

法隆寺百萬塔の墨書銘

彙報

編集後記

131 (狩野久)	2 156 (田中稔)	3 154 (佐藤宗諱)	4 158 (鬼頭清明)	1 128	2 154	3 152	4 156	5 156	5 156	5 156	5 156	5 156	5 156	5 156	5 156	4 148	4 148	4 148	4 148	4 148	4 148	3 140
5 134	110	70	56	54	49	32	74	71	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	